

令和6年度

事業報告書

(自) 令和6年4月1日

(至) 令和7年3月31日

社会福祉法人 佐賀市社会福祉協議会

目 次

令和 6 年度事業概要	1 ページ
I. 社会福祉事業拠点区分	2 ページ
1 法人運営事業	
2 地域福祉活動事業	
3 共同募金配分金事業	
4 福祉サービス利用支援事業	
5 生活福祉資金貸付事業	
II. 施設経営事業拠点区分	20 ページ
1 老人福祉センター事業	
2 金立いこいの家事業	
III. 介護保険等事業拠点区分	22 ページ
1 通所介護事業	
IV. 認可外保育施設運営拠点区分	22 ページ
1 松梅保育所運営事業	
V. その他の事業	22 ページ
1 共同募金・歳末たすけあい募金運動への協力	
2 日本赤十字社事業の推進	

令和6年度事業概要

制度・分野ごとの『縦割り』や「支え手」「受け手」という関係を超えて、地域住民や地域の多様な主体が参画し、人と人、人と資源が世代や分野を超えてつながることで、住民一人ひとりの暮らしと生きがい、地域をともに創っていく地域共生社会の更なる実現に向け取り組んできました。

今年度からの新たな取り組みとして、生活支援体制整備事業の核となる第2層生活支援コーディネーター事業を円滑に進めるため、職員体制の整備を図るとともに、主に高齢者の困りごとを地域と一緒に解決できるよう地域との関係づくりに注力してきました。

また、生活困窮や複合的な課題を抱える世帯への個別の支援についても、アウトリーチを通じた継続支援事業や参加支援事業につながるよう支援を行ってまいりました。

「福祉のまちづくり」を推進する上でのパートナーである校区（地区）社会福祉協議会に対しては、それぞれの重点目標が達成できるよう、地区担当が校区（地区）毎に伴走を行いながら、地域の諸団体とも協力し“地域での見守り活動”をはじめとして、福祉連絡会議の地域での開催や“あんしんカード”の推進などを行いました。

子育て支援については、南北拠点を中心にふれあい広場の開設を行うとともに、未就園児の受け入れだけでなく、就園児についても受け入れを行うことで、利用しやすい環境を構築することが出来ました。

ヤングケアラー支援については、嘉瀬校区をモデルとして、子どもに関連する情報共有会議を重ねた結果、ネットワークが構築され、専門機関に繋がり、子どもの権利が守られた事例もありました。また、他校区への普及にも継続して取り組んでおります。

令和5年から返済が始まったコロナ特例貸付の借受人支援については、今もなお生活状況が厳しく償還が難しい世帯に対し、フォローアップ支援として優先順位をつけ、電話相談や訪問等のアウトリーチによる積極的な支援を実施するなど、生活安定のための支援を行いました。

今後も地域福祉の推進を図ることを目的とする団体として、住民主体の理念に基づき、住民や地域の関係者との協働により、「ともに生きる豊かな地域社会」を創造することを使命とし地域福祉の推進に邁進します。

I. 社会福祉事業拠点区分（378,742,294 円）

1 法人運営事業（137,965,819 円）

（1）役員会開催状況

- ① 第1回理事会 令和6年5月31日（出席13名 欠席0名）※監事2名
 - 第1号議案 令和5年度 事業報告並びに資金収支決算について
 - 第2号議案 役員の報酬に関する規程の一部改正について
 - 第3号議案 評議員選任・解任委員会規程の一部改正について
 - 第4号議案 評議員の補充選任候補者の推薦について
 - 第5号議案 評議員選任・解任委員会の招集（決議の省略）について
 - 第6号議案 評議員選任・解任委員の選任について
 - 第7号議案 令和6年度 定時評議員会の招集について
 - 第8号議案 苦情解決第三者委員の選任について
- ② 第2回理事会 令和6年9月25日（出席12名 欠席1名）※監事2名
 - 第1号議案 令和6年度 第1回資金収支補正予算について
- ③ 第3回理事会 令和6年12月25日（出席11名 欠席2名）※監事2名
 - 第1号議案 令和6年度 第2回資金収支補正予算について
- ④ 第4回理事会 令和7年3月28日（出席13名 欠席0名）※監事1名
 - 第1号議案 地域・在宅福祉活動基金規程の廃止について
 - 第2号議案 経理規程（文書規程・専決規程）の一部改正について
 - 第3号議案 令和6年度第3回資金収支補正予算について
 - 第4号議案 令和7年度事業計画並びに資金収支予算について
 - 第5号議案 電子取引データの訂正及び削除の防止に関する事務処理規程の制定について
 - 第6号議案 育児・介護休業等に関する規程の一部改正について
 - 第7号議案 職員給与規程の一部改正について

（2）評議員会開催状況

- ① 定時評議員会 令和6年6月25日（出席18名、欠席5名）
 - 第1号議案 令和5年度事業報告並びに資金収支決算について
 - 第2号議案 役員の報酬に関する規程の一部改正について

（3）評議員選任・解任委員会開催状況

- ① 第1回評議員選任・解任委員会 決議の省略により開催
 - 第1号議案 評議員の選任について

（4）監査状況

- ① 令和5年度事業・会計監査 令和6年5月21日

（5）苦情の受付及び解決状況

苦情解決システム管理要綱に基づき、利用者等からの苦情について適切な解決を図った。

(6) 福祉バスの運行

本会の事業及び団体会員として登録している市内の各種福祉関係団体・サロン等が、研修・ボランティア活動等を行う際、円滑な活動ができるよう、マイクロバスの運行を行った。

運行件数：213件

2 地域福祉活動事業（175,993,017円）

(1) 企画・広報事業（1,582,294円）

① 社会福祉大会の開催

市内の福祉関係者が一堂に会し、今後の福祉活動推進の意識を高めるとともに、社会福祉に功労のあった者を表彰し、社会福祉事業の振興発展を目的に開催した。

・期日：令和7年2月20日

・場所：佐賀市文化会館 中ホール

・参加者：431名

・表彰者：福祉団体役職員4名、民生委員児童委員5名、福祉協力員3名

・感謝状福祉事業資金等協力者：4団体、個人1名

※第2部の講演会については、『地域応援研修』として実施。

② 社協だより“愛・あい”の発行

社会福祉協議会の事業を広く市民に知らせ、また理解と協力を求めるため、年3回（春夏・秋・新春号）市内全世帯及び事業所に配布した。

③ ホームページの運用

佐賀市社会福祉協議会の事業・活動を広く市民に知らせ、また理解と協力を求めるため作成・公開した。

(2) 地域福祉活動計画推進策定事業（53,446円）

策定推進委員会（第4回）を開催し、第4期地域福祉活動計画（令和3年～令和7年）の進捗状況を報告した。その中で重点事業となる「重層的支援体制整備」の現状を報告し、今後の地域福祉活動計画を推進していく中で、各委員より意見をいただくとともに、推進に向けての協議を行った。さらに、第5期地域福祉活動計画（令和8年～令和12年）の策定に向けて地域住民5,000名に無作為抽出にてアンケート調査を実施することの説明を行った。

(3) ボランティアセンター事業（2,834,037円）

市民のボランティアに対する意識高揚と参加を促進するため、佐賀市ボランティア連絡協議会主催の加入団体への研修としてボランティアのつどいを開催した。

内容：「ひとりひとりが災害に備えよう」 参加者数：32名

加えて、佐賀市ボランティア連絡協議会（登録8団体）の充実を図るため、年5回（4月・6月・8月・10月・3月）の役員会を実施し、それぞれの団体に所属しているボランティア団体等に対して情報共有を図った。

① ボランティアセンター運営事業

・ボランティアコーディネート機能の強化

市民からのボランティア活動に関する様々な相談に応じるため、インテークシートの作成・活用したボランティア活動のニーズの把握、調整に努めた。

・各ボランティア連絡（推進）協議会及びボランティア団体等との連携

各ボランティア連絡（推進）協議会やボランティア団体が開催する事業・定例会等への協力・連

携を図った。ボランティア連絡協議会の事務局を担い、ボランティア団体リーダーの育成を目的として、研修交流会の開催を支援した。

・ボランティア活動保険の活用促進

登録団体のボランティアが安心して活動に取り組めるよう、ボランティア活動中の事故に備えてボランティア活動保険に関する情報提供を行うとともに、保険加入や事故受付事務を行った。

加入受付：202 団体、6,650 名 事故申請：7 件

・福祉教育の推進

社協職員による講話 6 回（高木瀬小、春日小、若楠小、神野小、城南中、久保泉小）
「ふくしって何だろう」をテーマに、小学 3・4 年生、中学生を対象に講話を行った。

② ボランティア団体等助成事業

・ボランティア活動（団体、連絡協議会等）の助成

佐賀市を拠点に社会福祉事業を行っているボランティア団体等に対して、活動に要する経費の一部を助成した。

ボランティア団体：34 団体（680,000 円）

ボランティア連絡[推進]協議会：8 団体（380,000 円）

③ 災害ボランティアセンター事業

発災時、市民から復旧・復興活動が求められた場合に備え、速やかに活動の拠点となる災害ボランティアセンターを立ち上げ、被災者へのボランティア支援を行えるよう関係機関との連携を図った。

・令和 5 年度からは、内閣府が進める三者連携体（行政・NPO・ボランティア）の構築に向け、佐賀市協働推進課、佐賀災害支援プラットフォーム（SPF）との会議を開催した。

・令和 6 年能登半島地震及び能登半島大雨災害にかかる、現地災害ボランティアセンターへ職員派遣
派遣職員：5 名

派遣場所：石川県珠洲市災害ボランティアセンター

従事業務：ニーズ調査、現地調査、資機材班

・佐賀県社協等外部団体が主催する災害ボランティア研修会等への参加

（4）高齢者ふれあいサロン事業（21,675,034 円）※佐賀市委託

高齢者が住み慣れた地域や家庭で安心して暮らせるように、地域住民の協力により地域の様々な施設（地区公民館、集会所等）を利用し、高齢者や地域住民が気軽に集い、互いに交流を深めている。

また、生きがいづくりや健康づくりを推進し、高齢者が閉じこもりや寝たきりにならないよう、サロンに対し運営費の助成、併せて設立や運営の支援等を行った。

令和 6 年度においては、協力者の高齢化がさらに進み、ここ数年、サロンを廃止する数が増加する状態が続いている一方で、新たにサロンを開設される地区も増えており、サロン活動が今後も継続できるよう支援を続けていく。

◆令和 6 年度 新規 5 ヶ所、廃止 8 ヶ所（令和 5 年度 新規 3 ヶ所、廃止 15 ヶ所）

地区名	サロン数	開催数	参加者数	助成額(円)
勸 興	2	20	413	150,000
循 誘	12	176	2,429	890,000
日 新	7	78	1,501	510,000
赤 松	3	48	688	220,000
神 野	12	124	2,430	920,000

西与賀	11	165	2,416	839,955
嘉 瀬	4	56	595	290,000
巨 勢	6	74	1,238	440,000
兵 庫	11	118	1,534	745,000
高木瀬	9	148	4,156	760,000
北川副	11	181	2,637	840,000
本 庄	9	134	1,988	660,000
鍋 島	4	131	1,379	300,000
金 立	6	169	1,983	470,000
久保泉	2	23	509	160,000
蓮 池	3	33	403	210,000
新 栄	5	260	3,333	410,000
若 楠	2	21	323	140,000
開 成	7	184	3,137	540,000
諸 富	14	237	3,929	1,119,931
春 日	4	48	987	217,846
春日北	3	34	534	220,000
川 上	9	405	4,931	721,029
松 梅	2	22	427	150,000
富 士	4	53	809	290,000
三 瀬	6	64	758	420,000
南川副	10	116	1,043	710,000
西川副	5	99	1,261	370,000
中川副	6	75	805	420,000
大詫間	2	23	659	160,000
東与賀	4	55	836	290,000
久保田	9	170	2,144	690,000
合 計	204	3,544	52,571	15,273,761
令和5年度実績	217	3,809	57,736	16,717,383

(5) 地域子育て支援センター事業 (23,908,800 円)

北部の拠点として大和地区、出張ひろばとして富士地区に、南部の拠点として東与賀地区、出張ひろばとして諸富地区に広場を設け子育て中の親子が気軽に集うことができる広場を身近な地域に設置し、地域の子育て支援機能の充実を図り子育ての不安感等を緩和し、子どもの健やかな育ちの支援を行った。

① 子育て親子への交流の場の提供と交流の促進

・交流の場の提供

子育て親子が自由に利用できる交流の場を設置した。

広場名	開館 日数	乳幼児数 (延人数)	保護者数 (延人数)	ボランティア数 (延人数)	実利用者数	
					乳幼児	保護者
大和ふれあい広場 (拠点)	240	2,496	2,282	154	148	129
富士ふれあい広場 (出張広場)	98	409	303	128	84	65
東与賀ふれあい広場 (拠点)	241	2,156	1,841	28	130	119
諸富ふれあい広場 (出張広場)	53	322	291	29	37	35

・交流の促進

地域のボランティアグループの協力により、「子育てサロン」を実施し、子育て親子や地域の方との世代間交流を図った。

サロン開催場所	実施回数	乳幼児数 (延人数)	保護者数 (延人数)	ボランティア数 (延人数)
大和ふれあい広場（拠点）	39	242	238	43
富士ふれあい広場（出張広場）	13	51	49	45
東与賀ふれあい広場（拠点）	11	85	80	3
諸富ふれあい広場（出張広場）	7	26	24	33

② 子育て等に関する相談、援助の実施

子育てについて不安を抱えている親の相談に応じるとともに、定期的に専門家による「乳幼児育児・発達相談」や子育てに役立つ講座を実施することにより、子育て不安の解消を図った。

（単位：件）

	相談内容別					形態別			合計
	育児	就園	親の問題	家族	地域	来所	電話	グループ 相談	
大和	198	27	9	4	17	135	0	120	255
富士	3	0	0	0	0	3	0	0	3
東与賀	41	14	2	5	4	52	0	14	66
諸富	4	3	0	1	2	10	0	0	10

③ 地域の子育て関連情報の提供

子育てに関する情報や支援センターのイベント等を紹介する情報紙スマイルファミリー（発行月 4 月、6 月、8 月、10 月、12 月、2 月）を発行し、各校区公民館、児童センター、行政、市立図書館、近隣の保育園・こども園等に情報提供を行った。併せて市報等にも各広場で実施しているサロンや行事等の情報提供を行った。また、初産婦を対象とするサロンの案内を母子手帳発行時や近隣の産婦人科にて情報提供を行った。

- ・母子保健推進員に広場の広報・周知を行い、赤ちゃん訪問時に広場の情報提供を依頼した。
- ・ふれあい広場の専用Instagramを作成し、ほぼ毎日広場やサロンの様子やサロンの情報などを発信し、情報提供に努めた。

④ 子育て及び子育て支援に関する講習等

子育て中の保護者を対象に、子どもの足を守るための足育講座、歯科講座、児童虐待防止講座、乳幼児救急法、保活（保育園入園手続き等）講座を実施した。

【大和】

開催日	講座内容	募集組数	乳幼児数	保護者数
令和 6 年 7 月 23 日	乳幼児救急法講座	8 組	5	5
令和 6 年 8 月 22 日	保活講座	8 組	10	10
令和 6 年 9 月 9 日	歯科講座～歯並びと離乳食～	8 組	9	9
令和 6 年 9 月 20 日	児童虐待防止講座	12 組	9	7
令和 6 年 10 月 16 日	子どもの足を守るための足育講座	10 組	9	9
令和 7 年 3 月 25 日	乳幼児救急法講座	8 組	8	8

【東与賀】

開催日	講座内容	募集組数	乳幼児数	保護者数
令和 6 年 5 月 28 日	保活講座～入園について学ぼう～	12 組	14	14
令和 6 年 9 月 20 日	児童虐待防止講座	12 組	13	16
令和 6 年 9 月 26 日	乳幼児向け救急法を学ぼう講座	12 組	17	15

令和7年2月17日	歯科講座	12組	9	10
-----------	------	-----	---	----

⑤ サークル支援の実施（北部：15回）（南部：24回）

地域にある施設等に出向き地域の子育てサークルの活動支援やサークルの活動の場として広場を提供し、地域と密着した交流を図った。

⑥ 地域支援の一環として、出張サロンをおこなった。

開催場所（内容）	実施回数	乳幼児数 (延人数)	保護者数 (延人数)
三瀬（親子ふれあい遊び）	3	5	4
松梅（親子ふれあい遊び）	3	9	10
久保田（親子ふれあい遊びと製作）	2	12	12
大詫間（親子ふれあい遊びと製作）	1	4	4
南川副（親子ふれあい遊びと製作）	1	10	10
中川副（親子ふれあい遊びと製作）	1	10	9
西川副（親子ふれあい遊びと製作）	1	5	5

（6）多機関協働事業（重層的支援体制整備事業）（19,801,560円）※佐賀市委託

福祉まるごと相談窓口（佐賀市役所1階14番窓口）に専任の相談支援包括化推進員を2名配置し、高齢・障がい・子ども・生活困窮など各分野の相談支援機関だけでは、対応が困難な複雑化・複合化した課題を抱える世帯（人）の相談に応じ、分野を超えた相談支援機関等のネットワークを活用し支援につなげた。

◆相談件数

	延べ相談件数	新規相談
R6年度	1,417件	591人
R5年度	1,159件	539人

◆相談者（新規相談591件中）

（単位：件）

本人、配偶者、親、子、親族	343
地域（民生児童委員、自治会、近隣住民、友人など）	23
関係機関（市社会福祉協議会（CSW・貸付）、市自立生活支援センター、家計見直し相談室、地域包括支援センター、居宅介護支援事業所、就労支援事業所、スクールソーシャルワーカー、地域若者サポートステーション、ハローワーク、医療機関、中部保健福祉事務所、法テラス、警察など）	47
佐賀市役所内 （建設部、環境部、市民生活部、保健福祉部、子育て支援部、総合窓口など）	178

◆調整先機関（他の相談支援機関につないだ350件中）

（単位：件）

本人、配偶者、親、子、親族	58
地域（民生児童委員、自治会、近隣住民、友人など）	5
関係機関（市社会福祉協議会（CSW・貸付・成年後見中核機関）、市自立生活支援センター、家計見直し相談室、地域包括支援センター、居宅介護支援事業所、県精神保健福祉センター、スクールソーシャルワーカー、ひとり親支援団体、地域若者サポートステーション、県ひきこもり支援センター、ハローワーク、医療機関、中部保健福祉事務所、法テラス、警察、県社会福祉士会、居住支援法人、公営住宅管理団体、不動産会社など）	121

佐賀市役所内（建設部、環境部、市民生活部、保健福祉部、子育て支援部など）	166
--------------------------------------	-----

◆会議

支援会議	10 回 (実 10 ケース)
情報共有会議	5 回 (実 3 ケース) ※うち主催 4 回

(7) アウトリーチ等を通じた継続的支援事業（重層的支援体制整備事業）(37,355,114 円) ※佐賀市委託
市内 3 2 校区を北部、中部、南部の 3 つのエリアに分け、各エリアリーダーを中心に 1 5 人の地域担当（CSW）によるアウトリーチと伴走型の個別支援を実施した。エリア毎に常に情報を共有に努め、地域での会議や行事などにも積極的に参画した。また、関係機関等との情報共有に努め、地域住民と協力しながら地域課題の早期発見や解決に努めた。

< 個別支援 >

◆支援件数

	延べ支援件数	新規相談
R 6 年度	2,636 件	158 件
R 5 年度	2,678 件	196 件

◆相談内容

(単位：件)

内容	件数	内容	件数
病気や健康、障がいのこと	61	住まいについて	37
収入・生活費のこと	59	家賃やローンの支払いのこと	19
税金や公共料金等の支払いのこと	23	債務について	21
仕事探し、就職について	25	仕事上の不安やトラブル	6
地域との関係について	16	家族との関係について	38
子育てについて	4	介護について	18
ひきこもり・不登校	16	DV・虐待	3
食べるものがない	16	その他	8

◆連携機関

地域	自治会、民生児童委員、知人友人、近隣住民など
関係機関	佐賀市役所、地域包括支援センター、高齢者関係事業所、障がい者関係事業所、子ども関係事業所、佐賀市生活自立支援センター、佐賀中部保健所、医療機関、成年後見人、警察、フードバンク、居住支援法人、ハローワークなど

< 地域支援 >

◆延べ支援件数 2, 8 9 4 件

(8) 参加支援事業（重層的支援体制整備事業）(9,862,077 円) ※佐賀市委託

従来の地域力強化推進事業の拡充のため、交流の場づくりから就労支援など、対象者のニーズや課題を把握し、支援計画を基に地域の社会資源を活用しながら継続的な支援を展開した。また、制度にないサービスが必要であれば、地域の特性を生かした新たな社会資源を地域住民と協働しながら創りだしていくなど、その人らしい生活を目指し、伴走型支援を行っていくことに努めた。

◆支援件数

	延べ支援件数	うち新規相談
R6 年度	549 件	10 件
R5 年度	37 件	2 件

◆連携機関

地域	自治会、民生児童委員
関係機関	佐賀市役所、障がい者関係事業所、佐賀市生活自立支援センターなど

(9) 第2層生活支援コーディネーター事業 (45,000,000 円) ※佐賀市委託

地域包括ケアシステムの実現に向け、おおむね中学校区に1名、計15名の生活支援コーディネーターを置き、住民が抱える生活課題（ゴミ出し、電球交換、庭掃除など）を住民とともに協働して、生活課題の解決に向けたしくみづくりを行った。

◆延べ支援件数 2,944件

◆新たな仕組みづくり支援

地域住民が主体的に自らの校区（地区）に足りない新たなしくみづくりを進める際に、第2層生活支援コーディネーターとして積極的に支援を行った。

福祉協力員設置	1 件	春日
買い物支援事業	1 件	三瀬
高齢者サロン開設	2 件	巨勢、兵庫
コミュニティカフェ開設	11 件	日新1、高木瀬1、北川副6、蓮池1、大詫間1、久保田1
地域食堂	1 件	嘉瀬
たすきゅー金立	1 件	金立
計	17 件	

(10) 地域福祉活動推進事業 (13,920,655 円)

① 各福祉団体助成 (1,553,910 円)

佐賀市における福祉活動の振興を図るため、社会福祉事業を目的とする福祉団体等の事業及び運営に要する経費に対して助成金を交付した。

◆運営費助成 (4 団体) …佐賀市遺族連合会、佐賀市原爆被害者の会、佐賀市老人クラブ連合会、佐賀市校区（地区）社会福祉協議会会長会

◆事業助成

佐賀市自治会協議会研修費（佐賀市自治会協議会）

佐賀心理リハビリテーション訓練会（佐賀若楠ふたばの会）

② 民生委員・児童委員活動 (331,000 円)

毎月開催される市民児協役員会及び会長会、地区民児協定例会に参加し、住民の福祉の向上のため地域福祉活動の推進を日々行っている民生委員児童委員の活動に対し支援・協力を行った。

③ 校区（地区）社会福祉協議会役員研修会 (951,290 円)

期日：令和7年1月16日～17日

視察先：①大分市社会福祉協議会

②一般社団法人とんとんとん（大分県佐伯市）

参加者：27名

内容：①大分市社会福祉協議会における地域の居場所づくりなどについて

②金池校区ボランティアにおける地域の居場所づくりなどについて

- ③春日校区社会福祉協議会地域の居場所づくりなどについて
- ④共生社会実現サポートとんとんとんにおける地域の居場所づくりについて

◆エリア別研修会の開催

1) 北エリア（7校区）

期日：令和6年7月23日

内容：意見交換「各校区（地区）の事業内容について」

参加者：25名

2) 中エリア（11校区）

期日：令和6年8月20日

内容：意見交換会「各校区（地区）社協の一押し事業について」

参加者：32名

3) 南エリア（11校区）

期日：令和6年8月22日

内容：実践報告「能登半島災害における活動報告

～石川県珠洲市への災害ボランティア派遣～」

グループワーク「校区の見守り・福祉協力員活動」、「地域他団体との連携」

参加者：26名

4) 合同研修会

期日：①令和7年2月27日、②令和7年2月28日

会場：①大和老人福祉センター、②ほほえみ館

講師：佐賀新聞社 井上 武氏、米倉 義房氏

内容：「親しまれる広報を目指して」

参加者：①26名、②39名

④ 校区（地区）社協運営費助成（3,120,020円）

「自分たちの地域の福祉課題は、まず自分たち自身で取り組もう。」という住民意識をもとに、小地域福祉活動を担う基礎組織として設置されている市内31の校区（地区）社会福祉協議会に対し、事業を推進するため助成を行った。1校区あたり250,000円（うち100,000円）

⑤ 校区（地区）社会福祉協議会会長会

校区（地区）社会福祉協議会相互の連携や調整を図ることを目的に、校区（地区）社協の活動推進及び支援を行った。

◆役員会及び会長会の開催 役員会5回、会長会5回

⑥ 「助け合い・支え合い」の地域づくり推進事業（2,657,490円）

地域住民の生活課題を把握し、支援の必要な人たちの暮らしの課題に気づき、その解決や支援に向けた取り組みに対して、市内31の校区（地区）社会福祉協議会に助成を行った。

⑦ 福祉協力員等設置推進支援事業（3,611,609円）

「地域で安心安全な暮らしを支える体制づくり」の実現に向け、地域の実状に応じた福祉協力員の設置に向けた取り組みについて支援を行った。

	R4 年度	R5 年度	R6 年度
福祉協力員数	2,542 名	2,583 名	2,559 名
地区数	24 校区	23 校区	22 校区

⑧ 児童遊園地整備助成（800,130円）

市内地区自治会が児童福祉対策として、児童遊園地の新設、増設及び補修を行った場合、市とともに

に助成金を交付した。

校 区	設置数(件)	助成額(円)	校 区	設置数(件)	助成額(円)
高木瀬	1	100,000	富 士	1	42,900
本 庄	3	116,500	西川副	1	89,900
鍋 島	1	100,000	東与賀	4	149,700
開 成	1	100,000	久保田	1	32,000
川 上	1	60,000	合 計	14	791,000

⑨ 小災害罹災世帯に対する見舞（160,330 円）

・小災害罹災世帯に対する見舞

災害により罹災者が物的・精神的な援護が必要な状況において、自力更生の一時的な援助を図るため見舞金及び見舞品を支給した。

	発生件数	罹災世帯数	罹災人数	見舞金（円）
火 災	6 件	8 世帯	16 人	160,000

⑩ 実習生の受け入れ

種 別	人数	実習期間	学校・事業所
社会福祉士	2 名	2 3 ～ 2 4 日	西九州大学、九州医療専門学校
看護学科学生 老年看護基礎実習	2 7 名	1 日	佐賀県立医療センター好生館看護学院
介護福祉士	1 7 名	5 日 ～ 1 0 日	西九州大学、西九州大学短期大学部

（参考）R5 実績

種 別	人数	実習期間	学校・事業所
社会福祉士	2 名	2 3 ～ 2 4 日	西九州大学、九州医療専門学校
看護学科学生 老年看護基礎実習	2 5 名	1 日	佐賀県立医療センター好生館看護学院
介護等体験	8 名	5 日	佐賀大学・西九州大学・佐賀女子短期大学
介護福祉士	8 名	5 日	西九州大学短期大学部

⑪ ヤングケアラー支援事業（360,071 円）※新規事業

嘉瀬校区で情報共有会議を 3 回行った。（6 月、10 月、3 月）会議を通して、参集団体同士のネットワークの構築されたことは大きな効果だった。

また、12 月にはヤングケアラーを正しく理解するための講演会を行った。

今後、他校区でも子どもに目を向けてもらえるような地域支援を進めていく。

・講演会：テーマ「ヤングケアラーをもっと知ろう！」

期 日：令和 6 年 12 月 14 日（土）14：00～15：30

会 場：SAGA パラスポーツセンター体育室

参加団体：嘉瀬校区ヤングケアラー情報共有会議招集団体（15 団体）、

昭栄校区：日新・新栄の校区社協、民児協、市、県等

講演内容：「話しやすい大人ってどんな人？～心に残ったきょうだい会の声～」

講師：ト部 善行氏（筑後市社会福祉協議会 地域福祉係長）

「わたしって『きょうだい』だったの？～あのときは何も知らない～」

講師：副島 達彦氏（ふくおか・筑後きょうだい会会員）

⑫ 新入生応援プロジェクト（374,805 円）

企業等が「生活困窮世帯の課題解決を金銭的側面から応援したい。」という思いから寄付があった

財源を基に実施した。

中学校、高等学校、専修高等学校に進学予定の児童・生徒がいる経済的に困窮している世帯に対して、通学用の自転車を寄贈した。応募多数により寄贈できなかった世帯に対しては、支援の漏れを防ぐため、他の支援団体が行う支援策を紹介した。

申込み件数	24 世帯
自転車提供数	15 台
他団体への紹介	9 世帯

3 共同募金配分金事業（18,242,850 円）

（1）（歳末配分）共同募金配分金事業 歳末助け合い配分事業（6,283,389 円）

前年度、運動期間中（12月1日から1ヶ月間）に集まった募金を共同募金会佐賀市支会に設置した配分委員会に諮り、住民ニーズに応じた事業を展開した。

① 年末年始地域福祉事業

各校区社会福祉協議会等が自らの福祉課題に応じて行う年末・年始の事業に対し、助成を行うことで、地域での特性を活かした住民同士の交流を深めることができた。

地区名	事業内容	助成額(円)
勸 興	高齢者ふれあいの集い、一人暮らし高齢者への年賀状配布 等	154,000
循 誘	世代間交流もうすぐ正月祭しめ縄作り 他	209,000
日 新	しめ縄づくり、ミニ門松づくり、世代間交流ライトファンタジー	290,000
赤 松	一人暮らし高齢者年賀状作成・配布、餅つき、イルミネーション 等	311,000
神 野	一人暮らし高齢者料理教室、世代間交流しめ縄作り 等	309,000
西与賀	世代間交流しめ縄づくり、一人暮らし高齢者会食会	181,000
嘉 瀬	しめ縄指導者講習・訪問配布、餅つき、高齢者への年賀状配布 等	161,000
巨 勢	世代間交流グランドゴルフ大会、子ども教室ミニ門松づくり	87,000
兵 庫	一人暮らし高齢者友愛・クリスマスプレゼント	180,000
高木瀬	しめ縄づくりと豚汁の会、一人暮らし高齢者へクリスマスプレゼント 等	448,000
北川副	しめ縄づくり、健康マージャン教室、友愛年賀状事業	315,000
本 庄	防災について学ぼう、世代間交流イルミネーション作り	258,000
鍋 島	一人暮らし高齢者への年賀状配布、世代間交流スポーツ大会 等	264,000
金 立	一人暮らし高齢者ふれあいの集い	129,000
久保泉	世代間交流ほんげんぎょう、餅つき大会	63,000
蓮 池	蓮池こども冬まつり（松飾りづくり、ふれあい交流会食会）	57,000
新 栄	ふれあいグラウンドゴルフ大会、餅つき大会、ほんげんぎょう 等	204,000
若 楠	ほんげんぎょう、新年交流会、餅つき大会 等	260,000
開 成	ライトファンタジー、年賀状配布、三世代交流ボーリング大会	200,000
諸 富	子育てひろば事業、高齢者見守り研修、子育て支援者交流会	284,000
春 日	一人暮らし高齢者訪問交流事業	169,000
春日北	一人暮らし高齢者安否確認事業（75歳以上）	221,000
川 上	一人暮らし高齢者ふれあい交流会（75歳以上）	140,000
松 梅	高齢者見守り訪問事業、松梅校区柿むき大会	31,000
富 士	高齢者安否確認・餅配布、お屠蘇づくり 等	165,000
三 瀬	世代間交流干し柿づくり、メッセージ、お屠蘇づくり 等	63,000
南川副	小学生と高齢者とのふれあい交流事業（しめ縄づくり 等）	142,000
西川副	一人暮らし高齢者と児童のふれあい交流会（カレンダー作成）	148,000
中川副	ふれあい親子クラフト活動（一人暮らし高齢者への配布）	78,000

大詫間	世代間交流ふれあい餅つき交流会	36,000
東与賀	高齢者ふれあい会食交流会、餅つき大会、しめ縄づくり教室	236,000
久保田	絵手紙カレンダー作成、しめ縄づくり、世代間交流思斉の郷まつり	219,000
	歳末助け合い配分事業事務費	271,389
合 計		6,283,389

(2) 共同募金配分金事業 (11,959,461 円)

佐賀県共同募金会の配分委員会の議決に基づく佐賀市社会福祉協議会への配分金事業として地域福祉推進事業や地域テーマ事業の福祉のまちづくり支援事業を行った。

[全事業]

事業名	事業額(円)	配分金充当額(円)
① 校区(地区)社会福祉協議会運営費助成	4,650,000	4,650,000
② 在宅高齢者等会食会・訪問交流事業	1,300,550	1,282,950
③ ふれあいのまちづくり支援事業	2,995,430	2,964,000
④ 地域応援研修会	646,791	646,791
⑤ 福祉の体験学習指導者派遣事業	723,320	723,320
⑥ 新たな居場所づくり(コミュニティカフェ)	574,200	574,200
⑦ 生活困窮者支援事業	214,170	204,170
⑧ 福祉団体活動助成	855,000	699,973
合 計	11,959,461	11,745,404

※事業額と配分金充当額の差額は法人運営事業から繰り入れ

① 校区(地区)社協運営費助成(4,650,000 円)

「自分たちの地域の福祉課題は、まず自分たち自身で取り組もう。」という住民意識をもとに、小地域福祉活動を担う基礎組織として設置されている市内31の校区(地区)社会福祉協議会に対し、事業を推進するため助成を行った。1校区あたり250,000円(うち150,000円)

② 在宅高齢者等会食会・訪問交流事業(1,300,550 円)

地域の高齢者が公民館等で会食の機会を通して、地域の見守りのための「気づき・実践の場」となることを目的に、地区社協、地区民児協等が行う会食会・訪問交流に対し助成を行った。

地区名	実施団体	開催数		参加者数			助成額 (円)
		訪問	会食会	訪問交流	会食会		
					参加者	ボラン ティア	
勸 興	勸興校区社協	-	2	-	120	37	47,100
循 誘	循誘校区社協	-	2	-	144	47	57,300
日 新	日新校区社協	-	4	-	245	158	120,900
赤 松	赤松校区社協	1	-	228	-	-	34,200
巨 勢	ボランティア巨勢	-	6	-	122	100	66,600
兵 庫	兵庫校区社協	-	1	-	33	15	14,400
高木瀬	ボランティア高木瀬	-	1	-	74	33	32,100
北川副	ボランティア北川副	-	11	-	317	114	129,300
	北川副校区社協	1	-	124	-	-	18,600
		-	2	-	335	88	126,900
本 庄	本庄校区社協	-	1	-	56	56	33,600
鍋 島	ボランティア鍋島	1	-	279	-	-	41,850
		-	2	-	89	52	42,300
蓮 池	蓮池校区社協	-	2	-	37	32	20,700
新 栄	新栄ボランティア	-	1	-	44	34	23,400
		1	-	221	-	-	33,150

若 楠	ボランティア若楠	-	1	-	72	24	28,800
開 成	開成ボランティアひまわり	2	-	544	-	-	81,600
		-	2	-	104	71	52,500
諸 富	諸富地区民児協	2	-	853	-	-	127,950
春 日	春日校区社協	-	4	-	59	59	35,400
富 士	富士地区社協	2	-	328	-	-	49,200
三 瀬	三瀬校区社協	-	1	-	40	10	15,000
南川副	南川副校区社協	-	1	-	22	18	12,000
中川副	中川副校区社協	-	1	-	24	20	13,200
西川副	西川副校区社協	-	1	-	24	24	14,400
大詫間	大詫間校区社協	-	1	-	23	12	10,500
合計		10	47	2,577	1,984	1,004	1,282,950

③ ふれあいのまちづくり支援事業 (2,995,430 円)

住民主体の理念に基づき、地域が抱えているさまざまな地域生活課題を地域全体の問題としてとらえ、みんなで考え、話し合い、活動を計画し、協力して解決を図ることができる体制づくりを促進した。

◆ハード事業（備品整備）

(1) 地域福祉活動の拠点（自治公民館等）における福祉活動を推進するための備品整備

校 区	申請団体	整備備品	事業総額(円)	配分額(円)
勸興	東大島区	手すり	87,450	50,000
循誘	紺屋町	机、椅子	787,600	50,000
	東田代南	椅子	34,800	27,000
神野	西神野	冷蔵庫	103,500	50,000
嘉瀬	北島	机	94,160	50,000
	扇町	マイクセット	175,450	50,000
兵庫	東湊	冷蔵庫	65,780	50,000
	ふれあいタウン土井	温水洗浄便座	154,000	50,000
高木瀬	長瀬	椅子	65,340	50,000
北川副	増田宿	冷蔵庫、暖房器具	53,000	42,000
	新村	机、椅子	62,400	49,000
	犬尾	温水洗浄便座	82,780	50,000
本庄	中島	温水洗浄便座	45,980	36,000
	正里	テレビ、電子レンジ	70,582	50,000
鍋島	増田	机	59,004	47,000
	津留	椅子	54,800	43,000
金立	下九郎	机、椅子	62,700	50,000
	大門	椅子	59,800	47,000
久保泉	宮分	椅子	55,600	44,000
	上分三	椅子	64,800	50,000
諸富	大津	机	71,500	50,000
川上	池上	ワイヤレスアンプ	99,000	50,000
松梅	柚ノ木	暖房器具	49,800	39,000
富士	麻那古	ホワイトボード	64,570	50,000
	市川	ホワイトボード	68,800	50,000
西川副	船津	椅子	27,900	22,000
	西南里	IH コンロ、ホワイトボード	166,760	50,000
中川副	下早	冷蔵庫	73,120	50,000

久保田	下新ケ江	電子レンジ	75,800	50,000
	福島	椅子	49,800	39,000
合 計			2,986,576	1,385,000

(2) 地域の誰もが安心して暮らすことのできるまちづくりのための備品整備

申請団体	事業内容	事業総額(円)	配分額(円)
日新校区社会福祉協議会	折り畳み式リアカーの整備	198,000	158,000
北川副校区自治会長会	アンプ・スピーカー等の整備	249,700	199,000
本庄校区社会福祉協議会	レクリエーション遊具の整備	131,120	104,000
川上校区社会福祉協議会	車いす、シルバーカー等の整備	117,855	94,000
久保田校区自治会長会	夜間照明器具の整備	123,970	99,000
合 計		820,645	654,000

◆ソフト事業（事業費）

(3) 地域の誰もが安心して暮らすことのできるまちづくりのための事業

申請団体	事業内容	事業総額(円)	配分額(円)
循誘校区社会福祉協議会	見守り安心カードの作成	261,800	209,000
巨勢町自治会長会	防犯のぼり旗の作成	132,000	105,000
高木瀬校区自治会長会	防災用ビブスの整備	313,500	240,000
開成地区民生委員児童委員協議会	高齢者安心カードの作成	165,350	132,000
諸富地区社会福祉協議会	家庭訪問型子育て支援事業	299,467	239,000
合 計		1,172,117	925,000

④ 地域応援研修会（646,791 円）

地域福祉活動計画（第4期）の基本目標「地域で安心安全な暮らしを支える体制づくり」の推進、及び地域共生社会の実現に向けた地域住民の助けあい・支えあい意識の醸成や地域住民の相互連携を高めることを目的に、協働できる各種団体が参加する佐賀市社会福祉大会に合わせて研修会を開催した。

期 日	令和7年2月20日（木）
参加者	431名
内 容	「温かな地域社会の創設ー現場から見た孤立死防止ー」
講 師	NPO法人孤立防止センター 理事長 速水靖夫氏

⑤ 福祉体験学習指導者派遣事業（723,320 円）

・福祉体験学習指導者派遣事業

地域、企業、学校等で開催される福祉総合学習（車椅子介助、アイマスク体験、高齢者疑似体験等）に指導者（クローバーの会）を派遣し、福祉教育の推進を図った。

種別	講座数 (回)	派遣先（合計 17 件）		
アイマスク	43	【小学校】 ・ 勸興 ・ 日新 ・ 嘉瀬 ・ 高木瀬 ・ 北川副 ・ 循誘 ・ 諸富北 ・ 若楠 ・ 鍋島 ・ 開成 ・ 諸富南 ・ 春日 ・ 東与賀 ・ 久保泉 ・ 神野	【中学校】 ・ 城南 ・ 金泉	【企業・地域団体】
高齢者疑似体験	43			
車椅子体験	40			
合計	126			

⑥ 新たな居場所づくり事業（コミュニティカフェ）（574,200 円）

地域の繋がりを再構築していくために、誰もが集える居場所づくり（コミュニティカフェ）の推進を図った。

	R 6 年度	R 5 年度	R 4 年度
カフェ設置数	43 カ所 (16 校区)	40 カ所 (14 校区)	34 カ所 (14 校区)
(うち新規)	11 カ所	6 カ所	4 カ所

⑦ 生活困窮者への緊急支援活動助成事業（214,170 円）

個人・企業から寄せられた共同募金を財源として、生活にお困りの方に緊急的に活用できる食料や日用品の配布、アウトリーチ支援をするために実施した。本会で食料品の購入と食料を保管管理するための備品を購入した。

また、必要に応じフードバンク、生活自立支援センター、市生活福祉課、地域包括支援センター等とも連携しながら支援を行った。

	令和 6 年度	令和 5 年度
食料等支援件数	40 世帯	91 世帯
支援人数	58 名	53 名
支援人数（延べ）	72 名	155 名

⑧ 各福祉団体助成（855,000 円）

佐賀市における福祉活動の振興を図るため、社会福祉事業を目的とする福祉団体等の事業及び運営に要する経費に対して助成金を交付した。

- ・障害児・者福祉活動費 佐賀市視覚障害者福祉協会、佐賀市肢体不自由児・者父母の会、佐賀市身体障害者福祉協会連合会
- ・福祉育成援助活動費 佐賀市母子寡婦福祉連合会

4 福祉サービス利用支援事業（44,852,635 円）

① 福祉サービス利用援助事業（日常生活自立支援事業）（13,097,704 円）※県社協委託

認知症、知的障がい、精神障がいにより判断能力が不十分な方が、安心した生活が送れるように、福祉サービスの利用や生活全般に関するさまざまな相談を受けるとともに、計画的な収支設計に基づき支援した。

令和 6 年度は相談・問い合わせ件数が前年に比べ約 25%以上増加した。

◆相談、新規契約・解約件数（令和 7 年 3 月末現在）

（単位：件）

	認知症高齢者	知的障がい者	精神障がい者	その他	合 計
R 6 年度 相談・問合せ	1, 9 9 0	2, 0 2 2	3, 3 6 4	1 1 3	7, 4 8 9
5 年度	1, 3 1 5	1, 8 9 4	2, 3 4 4	1 9 0	5, 7 4 3
R 6 年度 新規契約	7	4	6	0	1 7
5 年度	6	2	6	0	1 4
R 6 年度 解約	8	2	8		1 8
5 年度	7	3	3	1	1 4

◆契約者数（令和7年3月末現在）

（単位：人）

	認知症 高齢者	知的 障がい者	精神 障がい者	その他	合計	延支援件数 (件／年)
R6年度 (うち生活保護受給者)	28 (16)	41 (15)	34 (27)	0 (0)	103 (58)	1,860
5年度	29	39	36	0	104	1,798

※実績件数については本所・北連絡所・南連絡所のすべてを含む

② 法人後見事業（16,690,255円）

法人（成年）後見人等として、身上保護や財産管理などの生活全般を継続的かつ長期的に支援し、被後見人等の権利擁護並びに意思決定支援を重視し、関係機関と連携・調整を行いながら後見業務を実施した。

◆受任件数

	受任件数	類型内訳 (うち市長申立)				新規	終了
		後見	保佐	補助	生活保護受給者		
令和6年度	27件	15件 (11件)	11件 (2件)	1件 (0件)	9人	2件	3件
5年度	29件	16件 (13件)	12件 (2件)	1件 (0件)	12人	2件	2件

◆支援内容

令和6年度 支援内容	・定期的な訪問 ・日常生活に係る料金、利用料の支払い ・各福祉サービスの利用契約 ・障害者手帳、自立支援医療更新手続き ・給付金申請 ・保険解約・更新 ・生活保護の申請 ・不動産の名義変更手続き ・資産の譲渡契約 ・相続承認、放棄手続き ・遺産分割協議 ・後見等終了後の親族、関係者への引継ぎ 等	・突発的な対処のための訪問 ・預金の代行取引手続き ・施設、病院等の利用契約 ・福祉、医療関係機関との調整会議 ・特別弔慰金申請 ・定期預貯金口座の解約 ・確定申告 ・不動産売却 ・住所変更手続き ・代理権付与の申立て
---------------	---	--

③ 佐賀市成年後見制度利用促進事業（佐賀市成年後見センター）（14,849,848円）※佐賀市委託

佐賀市から委託を受け、成年後見制度への理解、また、制度利用が必要な方の早期発見につなげるために、相談支援、広報・啓発活動などを行った。併せて定期的に運営委員会を開催し、さらに、受任者推薦会議を開催し適切な後見人の推薦などを行い、成年後見制度の利用促進に向け協議を継続していった。後見制度やその他の諸制度へ繋げられるよう、権利擁護に関わる団体・機関とネットワークを構築していくための権利擁護支援ネットワークを立ち上げた。

◆相談者内訳

相談者内訳	件数
本人	1 9
同居家族	1 7
別居家族	8 2
民生委員	2
地域包括支援センター	3 3
行政	2 7
施設	2 1
病院	4 7
介護保険事業所	3 5
障害福祉サービス事業所	1 1
社協	2 1
地域・団体	1 2
知人	8
その他	1 7
合計	3 5 2 件

◆相談内容

相談内容	件数
本会の法人後見事業に関する利用方法に関すること	3
成年後見制度の一般的な内容のこと	1 2 9
申立てや受任に関すること	1 1 6
任意後見に関すること	1 3
財産管理に関すること	7
相続・遺言に関すること	8
不動産処分に関すること	1
市民後見人に関すること	0
成年後見制度等に関する研修会・勉強会に関すること	1 3
親族後見に関すること	2
その他	6 0
合計	3 5 2 件

地域における権利擁護に関する研修会の開催

研修内訳	年度	回数	参加人数
高齢者サロン・高齢者サークル 10 か所、 公民館講座 2 か所、校区社協・まち協研修会 3 か所、 ボランティア団体研修会 2 か所、福祉協力員連絡会議研修会 1 か所、民生委員児童委員協議会研修会 1 か所、 佐賀市主催研修会 1 か所、医療法人研修 1 か所、 佐賀中部広域連合認定調査員連絡会議研修会 1 か所、 佐賀行政監視行政相談センター1 か所	6 年度	2 3 回	5 3 1 人
	5 年度	3 5 回	6 6 1 人

◆佐賀市成年後見センター運営委員会の開催（計 4 回）

佐賀市成年後見センターでの公正中立な運営及び、司法・医療・福祉を含めた地域連携ネットワークの構築を図るため、運営委員会を年 4 回開催した。

運営委員会 メンバー	弁護士、司法書士、社会福祉士、公証役場、地域包括支援センター、 障がい者支援センター (オブザーバー) 佐賀家庭裁判所、佐賀県
---------------	---

開催数	協議内容
第 1 回運営委員会 (5 月)	①権利擁護支援ネットワークについて ②佐賀市成年後見センター令和 5 年度実績報告
第 2 回運営委員会 (8 月)	①権利擁護支援ネットワークの振り返りと今後の進め方について ②佐賀市消費生活センターからの依頼 ・消費者安全確保地域協議会について

第3回運営委員会 (11 月)	①権利擁護支援ネットワーク会議の今後の展開について ・佐賀県銀行協会が開催する会議出席の報告
第4回運営委員会 (2 月)	①令和7年度事業計画(案)について ②佐賀市成年後見センター令和6年度視察研修報告

◆受任者推薦会議の開催

市長申立事案について、対象者の意思を尊重するために面接を実施し意思確認に努めた。会議では、各委員からの意見をもとに適した後見人等候補者を推薦した。

開催数	ケース数	内訳
11回	19件	認知症高齢者：17件 知的障がい：1件 精神障がい：0件 その他：1件
受任先		弁護士会、リーガルサポート、佐賀県社会福祉士会、佐賀市社協

④移送サービス事業(214,828円)

既存の交通機関による移動が困難な身体障害者手帳を所有するを身体障がい者、または、要支援2以上の高齢者で歩行補助具(杖、押し車等)が必要な方を対象に、ボランティアの協力のもと、車椅子搬送仕様自動車を利用した移送サービスを提供した。(利用対象地域：三瀬村、富士町、大和町松梅地区)

利用登録者：7名 利用回数：延21回 運転ボランティア：6名
※R5 利用登録者：7名 利用回数：延25回 運転ボランティア：7名

5 生活福祉資金貸付事業(28,092,065円)

①生活福祉資金貸付事業(1,699,000円)

金融機関からの借入れや公的貸付制度の利用が困難な所得の少ない世帯、障がい者や介護を要する高齢者の属する世帯に対し、必要な資金の貸付けと相談援助を行った。また、貸付に結びつかなかった世帯に対して、関係機関へ繋ぐことで切れ目のない支援を行った。

対象世帯…低所得者世帯、障がい者世帯、高齢者世帯、失業中の世帯等

資金種類…生活福祉資金(総合支援資金、福祉資金、教育支援資金、不動産担保型生活資金)

②フォローアップ支援事業(22,611,000円)

コロナ禍に特例貸付を利用された世帯へ電話相談を中心に生活状況の確認を行った。令和6年度は滞納回数が多く免除もされていない世帯から順に架電している。借入世帯と共に返済方法を検討し、生活保護や非課税世帯については免除申請を勧めた。また、必要に応じて自宅訪問も行った。

(単位：件)

	生活福祉 資金	臨時特例 つなぎ資金	フォローアップ支援 (コロナ特例貸付)	合計	内訳
相談等件数 令和6年度	414	0	449	863	総合5件、福祉73件、不動産8件 緊急158件、教育70件、その他100件
5年度	409	1	318	728	総合12件、福祉84件、不動産3件 緊急96件、教育73件、その他141件
貸付件数 令和6年度	19	0	0	19	福祉5件、緊急8件、教育6件
5年度	15	0	0	15	福祉2件、緊急10件、教育3件

※相談件数については一人の相談者から複数回の相談を受けているため延べ数での報告となっている。

※貸付に至らなかったケースについては、今後の生活支援をしていくうえで関係機関等に情報提供し連携を図った・・・佐賀市生活自立支援センター、地域包括支援センター、社協内地域担当（CSW）、佐賀市役所（生活福祉課・こども家庭課）他

③ 福祉資金（小口）貸付事業（3,782,065 円）

低所得世帯の自立更生のため、他からの資金貸付が困難かつ緊急の場合に3万円を上限として貸し付けを行った。

件数（件）		金額（円）
相談等件数	令和6年度	128
	5年度	125
貸付件数	令和6年度	119
	5年度	137
償還件数	令和6年度	134
	5年度	147
		3,040,765
		3,539,399
		2,910,765
		3,714,918

※1件の相談で複数の貸付を行うこともあるため、相談件数よりも貸付件数が多くなっている。

※貸付と償還の件数差は、1件の貸付に対し、最長6回までの償還回数となる場合があるため償還回数が多くなることもある。

Ⅱ. 施設経営事業拠点区分（97,202,463 円）

1 老人福祉センター事業（80,139,416 円）

高齢者が地域で安心して、心豊かに楽しく過ごせる場所を提供するため、市内5箇所（平松、巨勢、金立、開成、大和）の老人福祉センター等を運営した。各センターでは高齢者大学、クラブ活動や季節の行事などを行い、生きがいの充足、積極的な「仲間づくり」を進めている。また健康相談を実施し、健康で明るい生活を営んでもらうための各種事業の推進に努めた。

① 平松老人福祉センター（いきがい館平松）事業（23,493,404 円）※佐賀市補助事業

◆年間の利用者数 (単位：名)

	市内	市外	合計	1日平均
男	17,722	1,178	18,900	
女	11,220	119	11,339	
合計	28,942	1,297	30,239	102.8

◆佐賀市平松清風大学（開講日：毎週火曜日。ただし8月は休み）

長寿社会の中で、高齢者が積極的に学習に取り組むことで、生きがいを見つけ生活をより充実させることや、地域社会の活動に貢献できる人材を育成することを目的として実施した。

学生数 98名（1年生50名 2年生48名）

入学式 令和6年4月16日

卒業証書授与 令和7年3月4日

講義 一般教養、郷土史、健康、園芸、企画学習（グループ討議、自主企画授業）、1・2年生交流授業

講義数 1年生38回、2年生36回

学生活動 「文集ひらまつ」及び「学校新聞せいふう」の発行、運動会、ボランティア活動

クラブ活動 園芸、絵手紙、マージャン、歩こう会

② 巨勢老人福祉センター（いきがい館巨勢）事業（20,638,197 円）※佐賀市委託

◆年間の利用者数 (単位：名)

	市内	市外	合計	1 日平均
男	7, 6 0 0	1 6 7	7, 7 6 7	
女	8, 9 0 4	2 2 2	9, 1 2 6	
合計	1 6, 5 0 4	3 8 9	1 6, 8 9 3	5 8. 1

◆巨勢シルバーカレッジ（開講日：原則、第1・第3木曜日）

高齢者が様々な分野の学習に取り組むことにより、生きがいや暮らしの質を高める能力を身につけるとともに地域社会に貢献できる人材を育成することを目標に開設した。

学生数 40名（1年制）
 入学式 令和6年4月18日
 講義 一般教養、郷土史、園芸、健康づくり等
 講義数 22回
 修了式 令和7年3月6日

③ 開成老人福祉センター（いきがい館開成）事業（17,562,605 円）※佐賀市委託

◆年間の利用者数 (単位：名)

	市内	市外	合計	1 日平均
男	3, 6 8 3	0	3, 6 8 3	
女	2, 7 9 9	0	2, 7 9 9	
合計	6, 4 8 2	0	6, 4 8 2	2 2. 7

④ 大和老人福祉センター（いきがい館大和）事業（18,445,210 円）※佐賀市委託

◆年間の利用者数 (単位：名)

	市内	市外	合計	1 日平均
男	1, 6 7 2	2 2 9	1, 9 0 1	
女	3, 4 7 2	7 8 2	4, 2 5 4	
合計	5, 1 4 4	1, 0 1 1	6, 1 5 5	2 1. 2

◆大和いきがい文化講座（開講日：原則、第1、第3水曜日）

高齢者に開かれた身近な生涯学習の場として、教養や社会参加する資質を高め、自分らしくいきいきとした生活、地域貢献できる人材の育成を目的に高齢者教養講座を開講した。

学生数 30名（1年制）
 開講式 令和6年4月17日
 講義 ヨガによる健康づくり、郷土史、防災セミナー、生前整理、園芸等
 講義数 16回
 修了式 令和7年3月12日

2 金立いきいの家事業

① 金立いきいの家（いきがい館金立）事業（17,063,047 円）※佐賀市委託

◆年間利用者数 (単位：名)

	市内	市外	合計	1 日平均
男	1, 5 2 2	2 7 6	1, 7 9 8	
女	4, 5 0 2	6 2 0	5, 1 2 2	
合計	6, 0 2 4	8 9 6	6, 9 2 0	2 3. 8

◆金立いこいの家文化講座（開講日：原則として第4金曜日）

講座の機会を設けることにより、受講者がより知識を深め、生きがいを見出し、地域社会に貢献できる高齢者を養成することを目的に開講した。

学生数	36名（1年制）
開講式	令和6年4月26日
講義	一般教養、健康づくり、園芸、郷土史等
講義数	17回
修了式	令和7年3月7日

Ⅲ. 介護保険等事業拠点区分（23,203,678円）

1 通所介護事業

要支援及び要介護認定を受けた高齢者が、可能な限り居宅において、その有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるよう、入浴・食事・レクリエーション・口腔ケア・運動・趣味の活動等のサービスを提供した。

① 開成デイサービスセンター事業（23,203,678円）

実施日数（日）	延利用者数（名）	1日平均（名）
254	3,438	13.5

Ⅳ. 認可外保育施設運営拠点区分（21,587,445円）

1 松梅保育所運営事業

① 松梅保育所運営事業（21,587,445円）※佐賀市委託

松梅地区唯一の保育施設として、保育所保育指針に基づき、子どもの発達過程を踏まえた育ちを支援することを柱とした事業を計画し、子どもの穏やかな成長を支えた。

開所日数(日)	利用者(名)	
	保育児	1日平均
260	3,140	12.1

○保育事業

○地域住民・児童生徒との交流事業

農業体験・夏祭り・作品展・校区体育祭・かかし祭り展示・防災活動・フリーマーケット

Ⅴ. その他の事業

1 共同募金・歳末たすけあい募金運動への協力（佐賀県共同募金会佐賀市支会）

日本で唯一法律に基づいて行われる募金活動として、公的な福祉サービスでは支えられない分野の支援を行うため、佐賀県共同募金会佐賀市支会として募金活動を展開し、集まった募金は佐賀県共同募金会に全額送金した。

① 赤い羽根共同募金

「たすけあい つながるやさしさ 赤い羽根」をメインテーマに、１０月１日から１２月３１日までの３ヶ月間、各種団体などの協力を得て実施した。

(単位：円)

種別	戸別募金	法人募金	街頭募金	学校募金	職域(資材)	その他	合計
佐賀市支会	14,424,574	4,051,530	155,635	250,286	1,696,594	196,961	20,775,580
県共募扱	0	0	0	2,315	0	58,718	61,033
合 計	14,424,574	4,051,530	155,635	252,601	1,696,594	255,679	20,836,613

※職域(資材)は募金額のみ計上

② 歳末たすけあい募金

「つながり ささえあう みんなの地域づくり」をスローガンに、１２月１日から１２月３１日までの１ヶ月間、各種団体などの協力を得て実施し、集まった募金は佐賀県共同募金会に全額送金した。

(単位：円)

種別	戸別募金	その他	合計
佐賀市支会	5,839,153	273,086	6,112,239
県共募扱	0	1,055	1,055
合 計	5,839,153	274,141	6,113,294

2 日本赤十字社事業の推進（日本赤十字社佐賀県支部佐賀市地区）

国際救護活動や災害救護活動等の人道的使命に基づき、国内外で事業を実施している日本赤十字社の佐賀市地区として、赤十字事業の普及と事業推進に必要な資金を確保するため会員募集に努めた。

会費実績：１９，０３８，７２６円

① 各種講習会

佐賀県支部が開催する各種講習会の開催を積極的に推進するとともに、市内で行われる救急法などの講習に講師又は指導員の派遣調整を行った。

○講習への講師(指導員)派遣調整 ※県支部より派遣

救急法：１ヶ所

② 防災・減災活動等への取り組みに対する助成

校区自治会及び自主防災組織等が、防災・減災意識の高揚を目的に実施する防災・減災活動及び研修会、講習会等に対して助成金を交付し、地域における日本赤十字社活動の普及と誰もが安心して暮らせる地域づくりの推進を図った。

助成金交付：実績なし。

③ 災害義援金（救援金）の募集・受付

各地で発生した災害などに対し義援金の募集及び受付を行い、集まった義援金は日本赤十字社佐賀県支部を通じて被災地へ送金した。

○ウクライナ人道危機救援金 １０９，９１８円

○令和６年能登半島地震災害義援金 ４４２，０８０円

○令和6年7月25日からの大雨災害義援金	956円
○令和6年9月能登半島大雨災害義援金	227,629円
○レバノン人道危機救援金	2,424円
○令和6年沖縄県北部豪雨災害義援金	1,847円
○令和7年大船渡市赤崎町林野火災義援金	10,000円

④ 火事等の罹災世帯への援助

市民で住宅火災により罹災者が物的・精神的な援護を必要とする場合、見舞金や毛布、日用品等の物資を支給することで、自力更生を支援した。

世帯数（人数）	緊急セット	毛布	バスタオル	見舞金(円)
8世帯（17人）	9	16	16	70,000

⑤ 九州八県連合赤十字大会(福岡県大会)への参加

福岡県福岡市において開催された赤十字大会に参加した。佐賀市地区職員1名